

にした。

(2) 内容をなす項目及びその数を下表に示す。
次のように定め、原稿〆切は本年十二月
末日とする。



年報委員会報告

日 時 五月十一日 夕方

出席者 有賀、喜多、武田
の各委員 堀武、甲田、塙本

理論と方法

社会学

喜多野清一

三〇

経済学

小池 基之

二五

民俗学

有賀喜多(門)

二〇

農山村

福成

三〇

村落構造

島田

三〇

家族

小山 隆三

三〇

教育

大内 力

三〇

宗教

堀武

三〇

人口

重複

三〇

行政

大田 美之

三〇

方針及び内容

堀武

三〇

執筆者等を算計整理し

島田

三〇

この結果によつて、大要次のような

ことと結論し令にました。

「村々社会研究の成果と課題」と題し

各分野の成果と課題を統一するつとめです

る。すなわち、われわれが今日まで何を

やつてきたのか、そしてこれから何をし

むかとしているのか、このようなことを

さらに社会学、経済学、法医学、民族学

等各个方面における相互間の問題を確定

することに主眼をおさたい、なお、社会

学部における新しい問題を提示し、こ

の新しい問題に対する充分の関心を持たう

漢村
社会
經濟
民俗
文化
教育
宗教
人口
行政
法律
意識
原作
古文
中行
通説
内藤
山口
梅田

社会
經濟
民俗
文化
教育
宗教
人口
行政
法律
意識
原作
古文
中行
通説
内藤
山口
梅田

社会
經濟
民俗
文化
教育
宗教
人口
行政
法律
意識
原作
古文
中行
通説
内藤
山口
梅田

社会
經濟
民俗
文化
教育
宗教
人口
行政
法律
意識
原作
古文
中行
通説
内藤
山口
梅田

社会
經濟
民俗
文化
教育
宗教
人口
行政
法律
意識
原作
古文
中行
通説
内藤
山口
梅田

社会
經濟
民俗
文化
教育
宗教
人口
行政
法律
意識
原作
古文
中行
通説
内藤
山口
梅田

社会
經濟
民俗
文化
教育
宗教
人口
行政
法律
意識
原作
古文
中行
通説
内藤
山口
梅田

にした。

海外動向

國際化の進展

政治

經濟

農業

通商

財政

銀行

國際化の進展

政治

經濟

農業

通商

財政

銀行

農業

通商

財政

銀行